

# ブログ情報を用いた観光行動・意識分析の適用可能性に関する基礎的研究\*

## Fundamental Study of Applicability of Blog Data on Sightseeing Travel Behavior and Evaluation Analysis\*

神田佑亮\*\*・藤原章正\*\*\*・張峻屹\*\*\*

By Yusuke KANDA\*\*・Akimasa FUJIWARA\*\*\*・Junyi Zhang \*\*\*

### 1. はじめに

我が国において観光は地域経済起爆剤として期待され、国内観光や外国人観光客の受け入れなどを重点的に取り組んでいる地域が非常に多い。持続可能な観光地づくりを進めていくためには、多様化するニーズや旅行形態を的確に分析し、その上で策定した戦略に基づく観光施策の展開が不可欠である。

しかし、多くの観光地が個性を活かした観光資源の創出に苦勞している。その要因の1つとして多様化するニーズに対するマーケティング、即ち行動や意識を記述するデータの不足が挙げられる。観光客の行動や意識、満足度の把握には、主にアンケートが用いられてきた。アンケート調査は分析のために収集したい情報が直接得られるという利点がある反面、任意の一時点での調査であり行動パターンが広域かつ多様で、季節により魅力が変動するといった非定常な行動・現象を的確に把握するには課題が残る。

近年インターネットの発達に加え、手軽に情報発信できるためのツール等が急速に普及し、多くの人々が自分の経験や感想等を Web 上に発信するようになった。観光・余暇活動をその対象として扱ったものも非常に多く見られる。

本研究では、観光・余暇活動を扱った日記型 Web サイト「ブログ」に着目し、ブログに記述された内容による観光行動・意識分析の適用可能性を分析することを目的とする。

### 2. 観光ブログ情報の特性

ブログ(Blog)とは、日付入りの記事ページを中心としたウェブサイトである。写真や文字を主体に記述される点は従来のホームページ同様であるが、作成が容易であることに加え、読み手とのコミュニケーションも容易で匿名性も確保されやすいことから、インターネットで活動の記録や感想、意見を表現する手段として非常に人気が高い。

観光・余暇行動を記述したブログも多数存在している。これらのブログのほとんどには、旅行の動機、行程、訪問箇所、食事、休憩箇所、宿泊箇所、同伴者など行動の内容が記述されている。加えて、対象となる観光・余暇行動の感想や印象が表現され、作成者が独自の視点で評価をしている

場合が多い。

ブログ情報に含まれる情報や特性について、従来のアンケート調査による方法との比較を表-1に示す。上述の特性以外のブログ情報の長所は、対象観光地や時期が限定されない点に加え、分析のためのコーディングが不要であり、費用面でも優位である。また自発的記述であるため、記述者の意図的なバイアスを含む可能性が極めて低いことが考えられる。反面、帰宅トリップが記述されにくい、個人属性がわかりにくいなどといった欠点を有する。

表-1 観光ブログ情報とアンケート調査との特性比較

	ブログ情報	アンケート調査
対象地域	・限定なし(全国各地)	・調査実施箇所のみ
対象時期	・限定なし	・調査実施日のみ
対象者	・主に観光客(着地)	・観光客(着地)、居住者(発地)とも可能
費用	・直接経費がほぼ不要	・調査員人件費、印刷費、コーディング等の経費を要する。
回答者の負担	・自発的記述 ・回答者の実質負担なし	・強制的記述 ・回答者の時間を拘束
データの特性	・帰宅トリップが抜けやすい ・評価とその要因が明確	・知名度が低い魅力ある観光地が抜けやすい
加工・分析	・コーディング不要	・集計分析しやすい(選択式の設問が多い場合)

### 3. 観光ブログ情報を用いた観光行動・意識の基礎分析(1)分析の概要

観光ブログ情報の観光行動・意識分析の適用可能性を分析するため、2007年に世界遺産登録された「石見銀山遺跡とその文化的景観(島根県大田市)」について記述された観光ブログ情報を用い、分析を行った。石見銀山の観光客数は世界遺産登録をきっかけに各地から幅広く観光客を集め、2007年の観光入込客数は約71万人(前年比78%増)となっている<sup>1)</sup>。

周辺には東方向に出雲大社(出雲市)、松江市街・玉造温泉(松江市)、境港・水木しげるロード(鳥取県境港市)、西方面にはしまね海遊館アクアス(浜田市)などの著名な観光地が存在する。また石見銀山付近には「砂時計」で有名な仁摩サンドミュージアムや三瓶山(大田市)などがある。石見銀山周辺は公共交通のサービス水準が低く、観光のための交通手段は自動車(観光バス含)に依存している。

表-2にデータの収集・分析手順を示す。分析に用いたブログ情報は、大手検索サイトの公開型ブログより、「石見銀山」かつ「旅行」のキーワードで検索しヒットしたブログ(約800件)のうち、旅行について記述されている上位30件を対象とした。次に得られた情報を形態素解析ツール

\*キーワード:観光・余暇、意識調査分析、交通行動分析

\*\*正員、工修・開発政策修、オリエンタルコンサルタンツ・  
広島大学大学院国際協力研究科博士課程後期、  
(大阪市淀川区宮原4-1-14 住友生命新大阪北ビル、  
TEL 06-6350-4373、Mail kanda@oriconsul.co.jp)

\*\*\*正員、工博、広島大学大学院国際協力研究科  
(東広島市鏡山1-5-1、TEL082-424-6921、  
Mail afujiw@hiroshima-u.ac.jp)

(ChaSen)<sup>2)</sup>を用い文章を単語(品詞)レベルに分解した後、活用の標準化と表現方法の違いの修正を行った。

表-2 観光ブログ情報を用いた分析の手順

①観光ブログ情報のサンプリング
大手検索サイトの公開型ブログより、「石見銀山」&「旅行」で検索し抽出。(ヒット数800件のうち旅行記録のある上位30件を抽出)
②形態素解析(言語処理)
ブログデータを「単語(品詞)」レベルに分解。併せて、表現方法の違いの修正などのクリーニングを実施
③集計分析
単語の出現回数・順序等の分析(観光地名、旅行形態、魅力、印象などのキーワード等)

(2)分析結果

石見銀山を中心とした観光行動・意識について、上記のデータを用いて分析した結果を以下に示す。なお本稿では現時点で完了している基礎的分析結果を記している。出現順序等の詳細な分析結は口頭発表時に報告したい。

■訪問観光地(図-1)

島根の観光を象徴する「出雲大社」や、「松江」、「大山」など石見銀山より東側の観光地・地名の出現回数が多く、石見銀山を訪れた観光客は主に東部の観光地を周遊していることが伺える。また道の駅「キララ多伎」の出現回数も多く、印象に残りやすい箇所であることが伺える。

■魅力(図-2)

石見銀山を象徴する「世界遺産」のキーワードが目立つ。「食べる」、「温泉」等のキーワードも頻出し、石見銀山を中心とした圏域にこれらの要素を期待していることが伺える。また「砂時計」等映画・テレビに関するキーワードも見られる。

■交通手段(図-3)

「車」、「バス」など自動車に関連するキーワードが多く、鉄道は殆どない。「飛行機」の出現回数も多く、遠方からのアクセス手段として航空便も主体となっていることが伺える。

■印象(図-4)

「!」、「?」、「♪」などの記号が上位を占めている。またネガティブなキーワードが少ない傾向にある。

■その他

食べ物については、名産である「そば」が多かった。次いで多かったのが「パン」、「ソフトクリーム」などの軽食であり、軽食も主要な食事と同様に印象に残りやすいことが伺える。

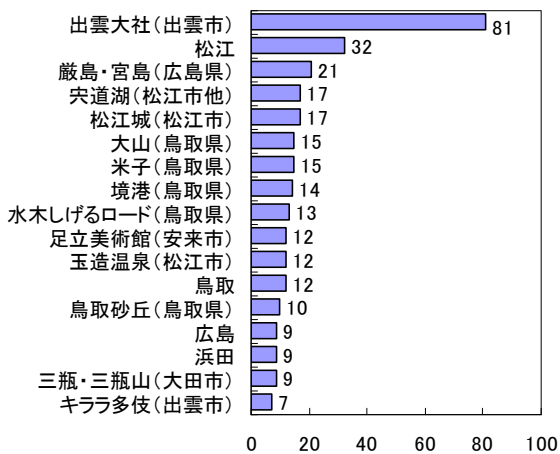


図-1 地名・観光地に関するキーワードの出現回数

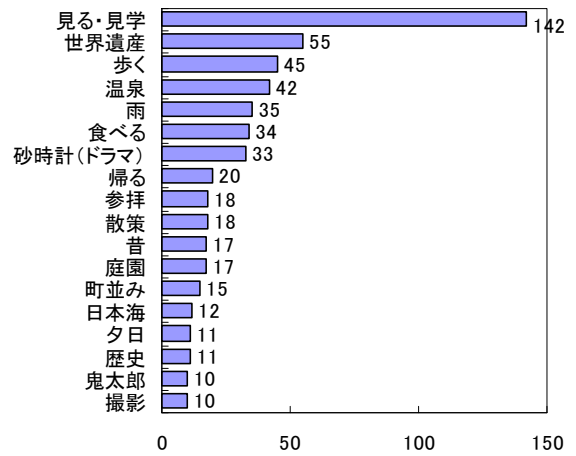


図-2 観光地特性に関するキーワードの出現回数

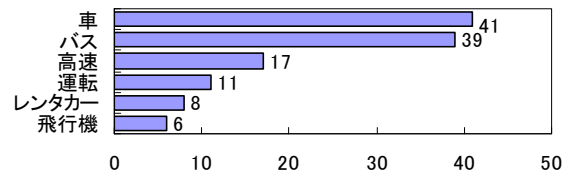


図-3 交通手段に関するキーワードの出現回数

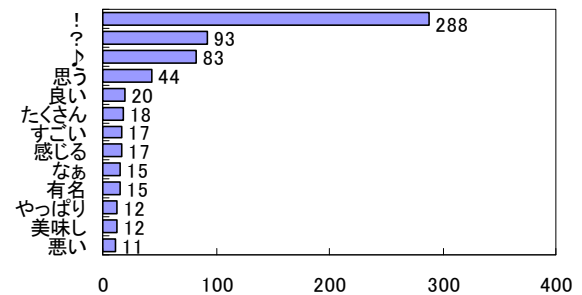


図-4 印象に関するキーワードの出現回数

4. まとめと今後の展望

本論文では観光ブログ情報を用いて分析を行うことは、多様な観点からキーワードを抽出し、観光行動や意識などの特性を顕在化させることができる点などから一定の有効性を示すことができた。

今後はマーケットバスケット分析などキーワードの出現パターン分析、総合満足度と個別要素のインパクトの関係などの基礎的分析を深め、観光・余暇行動における行動・意識構造の明確化を図る。その上で訪日外国人観光客などの行動・意識構造の分析を行い、併せて分析手法の更なる簡素化を図り、今後の地域振興に資する持続可能な観光戦略立案のための分析手法の確立を図りたい。

参考文献

- 1) 島根県観光振興課:「平成19年島根県観光動態調査結果」  
<http://www.kankou.pref.shimane.jp/report/h19/index.html>
- 2) 奈良先端科学技術大学院大学情報科学研究科松本研究室  
<http://chasen-legacy.sourceforge.jp>